

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年 6月 20日

事業所名

環境・体制整備	チェック項目		いい	いいえ	工夫している点	評価や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	1	利用定員が指導員定数等スペースとの関係で適切である	○		時間単位で利用定員を設けている。 ※施設・時間	定員3名となった場合のフロア利用の事業所内 マナー・ルールを定数、保護に利用できるように レイアウトを改善
	2	職員の数配置は適切である	○		業務時間の職員配置を厚くしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 になっているか。また、障がいの特性に応じ、 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切にされているか。	○	○	活動ごとの空間を1～2階ションを用い て、視覚的にわかりやすくしている。 活動に集中できるように設備の配置が 定まらなっている。	レッスンの切りかえ時の準備物の整理整頓の徹底、活動 に集中しやすい空間づくり、本人が主体的に動きやすくなる よう設備化をより進めている。（図画書・活動内容の 視覚的支援等）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子どもの活動に合わせた 空間となっているか。	○		エリアごとの掃除・午前と午後 のトイレの掃除など重点箇所を掃 き出し清掃を心がけている ●雑音・雑音の低減	より具体的に清掃実施の状況が確認できるように することで清掃忘れの箇所がないように、担当が 明確になるように進捗を改善していく
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定 と振り返り）に、広く職員が参加している	○		運営面の改善（サービス提供）を職員が 主体として課題に取り上げ改善行動を 始めている	利用者の増えしていく課題においても研修時間が確保できる ように、業務運営のり込みを検討しサービス提供に必要な 会議時間・研修時間が確保できるような計画を
	6	保護者等向け研修等により、保護者等に対して事 業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向 等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者等向け研修から、必ず改善提 言、具体的な改善行動を決定し、実行す るようにしている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結 果を踏まえ、事業所として自己評価を行うことと も、その他策による実施の取組及び改善の内 容を、事業所の会報やホームページ等で公開し ている	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改 善につなげている	○			
	9	職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確 保している	○		月1～2回確保できるように計画的に予 定している	利用者の増えしていく課題においても研修時間が確保でき るように、業務運営のり込みを検討しサービス提供に 必要な会議時間・研修時間が確保できるような計画を
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズ・課題を正確に把握した上で、児童発達 支援計画を作成している	○		評価表で、業務内容の振り返り・支援計 画の振り返り、モニタリングの実施、1日 振り返り、日々の振り返りを実施してい る。	
	11	子どもの反応行動の状態を把握するために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	○			現在、アセスメントの仕様を就労支援所等の為、 早期に複数の観点（3種類）のアセスメントを標準 化していく予定
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達 支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支 援」、「地域支援」に関する支援項目などとの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されている	○		二家系の意向・連携事業所（保育所等） の意向を踏まえた個別支援計画の作成に 努めている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月ごとに、活動内容の整理・見直し を実施している	
	15	活動プログラムが固定しないよう工夫している	○		月ごとに、活動内容の整理・見直し を実施している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		月ごとに、更新時のタイミングで、活動 内容の整理・見直しを実施している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いる	○		日報の共有をして活動内容 がわかるようになっている	支援内容の準備は、定型的に実施できているが臨時的な打ち 合わせ時間を定型的に確保できるようにしていない
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を 共有している	○		日報の振り返り記録を確認し、次の支援 に活かしている	
	19	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支 援の検証・改善につなげている	○		日報の振り返り記録を確認し、次の支援 に活かしている	記録方法の職員間での統一、 統一のフォーマットを実施する事で更に向上させる。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画 の実施上の必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもとの状況に配慮した参加を促している	○			
	22	母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係 機関と連携した支援を行っている	○		事業所のサービス提供内容や 運営方針などをチラシ配布でお伝えして いる	連携を必要とする関係者がいる際に、 やり取りがスムーズにこなすべく定期的に関係機関とコミュ ニケーションを共有していく
	23	「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がい のある子ども等と支援している場合」 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関 係機関と連携した支援を行っている	○	○		
	24	「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がい のある子ども等と支援している場合」 子どもとの主治医や協力医療機関等と連携体制を 整えている	○	○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼 稚園、特別支援学校（幼稚部）等の中で、支援内 容等の情報共有と相互理解を促している	○		ケース会議を定期的に実施している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学 部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解 を促している	○			現状、保育所からの情報共有と連携関係 までのやり取りとなっている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業 所、発達障害支援センター等の専門機関と連携 し、助言や研修を受けている	○			今後、機会を得られるよう検討していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	○			今後、機会を得られるよう検討していきたい。
	29	「（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・ 子育て会議等積極的に参加している	○			今後、機会を得られるよう検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達状況や課題について共通理解を促して いる	○		サービス提供記録のコメント添削などを 通じて、支援内容・関わり方の統一感が増 えるよう取り組んでいる	
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対して発達支援プログラム（ペアレント・トレー ニング等）の支援を行っている	○			
	32	運営経理、利用者負担等について丁寧な説明を 行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の内容及び支援内容と、これに 基づき作成された「児童発達支援計画」を示しな がら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達 支援計画の同意を得ている	○		事前に書類をお渡しした上で、 別添または電話による支援計画説明を 実施している 同意の際は、電子署名にて実施	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	○		支援計画更新前の実施を確実に実施し ていく中で、ヒアリングとその際に関 与している	
	35	父母の後の活動を支援したり、保護者等と関係 する等により、関係者同士の連携を実施している	○			共に数回、定例開催ができるように企画実施してい きたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入りに対して、列 々の体制を確保することなど、子どもや保護者に 関知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適 切に対応している	○		活動職員を中心に、当日中に 会議を開催し、対応方針について検討す るようになっている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信 している	○			定期的にホームページやSNSでの外部発信ができて いない。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		写真撮影は事業所タブレットで実施 ならびに管理している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情 報伝達のための配慮をしている	○		ケース会議を通じて、 情報共有や取組のやり取りをコミュ ニケーションに取組んでいる	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関 わった事業運営を行っている	○			今後検討していきたい
非常時等の対応	41	緊急対応マニュアル、防災マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知 するとともに、発生を想定した訓練を実施してい る	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的な避難、撤出その 他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、園業や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を把握している	○		児童業の記入を年度ごとに 更新している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている	○			今後、作成活用していきたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、職員間で話し合い、子どもや保護者に事前 に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計 画に記載している	○			身体拘束になり得るケーススタディに ついて職員と話し合いをする場合を設 けている。該当するケースがあった際には双方の承諾 と書類記載を徹底している。